

## オゾン老化試験

オゾン老化試験の目的は、加熱老化試験でVEM材の酸化性能を確認したが、再度直接的に酸化を促進させるオゾン150pphm x40 の雰囲気中に試験体を最大6時間放置することで初期性能の維持、および加熱老化試験との相違があるか否かの確認試験として行った。従ってせん断破断強度のみの測定となっている。

Fig.37に示す様に初期値とほとんど変化が無く、かつ、

Fig.29の加熱老化試験結果と比較しても50 x10日の内容と大きく変化をしていないことが分かる。

従って、VEM材は2重結合を持たない為、耐酸化特性が非常に優れていることがここからも確認出来る。

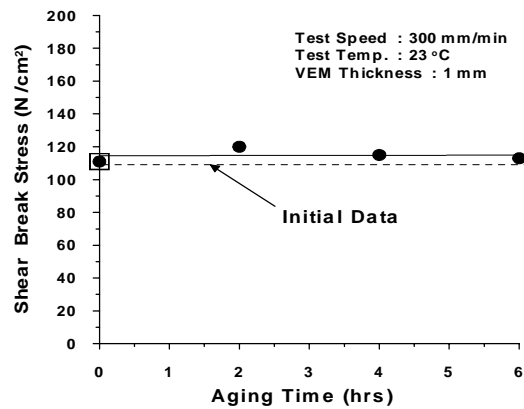


Fig37: Shear Break Stress after Ozone Aging